

ベーコンなど加工品開発

小山の村田さん



自ら開発した「おとん」の加工食品で新市民病院を応援したいと語る村田さん

販売収益の一部寄付へ

負けない 新型コロナ

【小山】小山ブランド豚「おとん」のベーコンやソーセージを開発した駅南町2丁目、主婦村田玲子さん(34)がこのほど、売り上げの一部を新市民病院に寄付しようと活動を始めた。新型コロナウイルスの不安が広がる中「市民のために最前線で頑張っている看護師や医師を応援したい」という気持ちからだという。道の駅「思川」と連携してネット通販も始めた。(青木友里)

「おとん」で市民病院応援

村田さんは3人の子を持つ母親。2年前市内に移住し、スーパーで買った「おとん」を食べたところ「ものすごくおいしくて衝撃を受け」、自ら下野市の食品工場に掛け合いソーセージやベーコンの開発に乗り出した。

個人で「おとつべしおやまブランドを広めるプロジェクト」を立ち上げ、今年1月から道の駅思川やまちの駅「思季彩館」などで販売。市のふるさと納税の返礼品にも登録された。商品は「厚切りベーコン」「あらびきフランクフルト」「あらびきソーセージ」などで各490円。5月の販売分から原材料費などを差し引いた収益の15%を寄付する予定という。

4月29日～5月5日に同道の駅で販売したところ好評で、420パックを完売した。同道の駅ホームページのネット通販 (<https://www.michinoekiomigawa.com/>) から購入できる。

村田さんは「売り上げは大きくありませんが、少しでも役に立ちたい」と話している。問い合わせメール oyama.otoppe@gmail.com

【小山】市は7日、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急経済対策で国が国民1人当たり10万円を給付する「特別定額給付金」の支給を始めた。同日から、申請者の口座に振り込む。市によると、県内で最も早い支給開始になるという。

この日、大久保寿夫市長らが、城山町3丁目の足利銀行小山支店を訪れ、松浦讓支店長に振り込み手続きの開始を依頼した。松浦支店長は「市民にいち早く届けられるよう、本日から対応を始める」と述べた。

市は1日までに、市内全世帯約7万3千世帯への申請書類の郵送手配を完了し、オンライン申請の受け

【小山】市は7日、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急経済対策で国が国民1人当たり10万円を給付する「特別定額給付金」の支給を始めた。同日から、申請者の口座に振り込む。市によると、県内で最も早い支給開始になるという。

この日、大久保寿夫市長らが、城山町3丁目の足利銀行小山支店を訪れ、松浦讓支店長に振り込み手続きの開始を依頼した。松浦支店長は「市民にいち早く届けられるよう、本日から対応を始める」と述べた。

市は1日までに、市内全世帯約7万3千世帯への申請書類の郵送手配を完了し、オンライン申請の受け



松浦支店長(左)に振り込み手続きを依頼する大久保寿夫市長

小山市が支給開始

国の特別給付金10万円

県南・両毛版

SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE

- 読者室
TEL.028(625)1179
- 足利総局
TEL.0284(40)1023
FAX.0284(40)1024
- 小山総局
TEL.0285(30)1123
FAX.0285(30)1124
- 佐野支局
TEL.0283(20)1123
FAX.0283(20)1124
- 栃木支局
TEL.0282(20)1023
FAX.0282(20)1024

掲載写真 詳細はWEBで
購入できます

申し込み (記者撮影分に限り)
デジタルメディア部
(受付 9時半～17時半 平日のみ)
028-625-1102